

保育おおさか

平成20年11月1日 第399号

大阪府社会福祉協議会・保育部会
(大阪府保育協議会)

☎ 06-6762-9001 Fax 06-6768-2426



約600名が参加

保育所に求められる社会性・保育の根拠・専門性 活用しやすさ、理解しやすさが基本の改定指針

一保育所保育指針説明会一

来春から施行される「新指針」研修会の一環として、「保育所保育指針説明会」(大阪府と東大阪市の主催)が10月15日、

東大阪市民会館で開催されました。大阪府健康福祉部児童家庭室子育て支援課長 小原理恵氏があいさつで新指針の保育所

保育と子育て支援への期待の高さなどを訴えられました、厚生労働省雇用均等児童家庭局保育課保育指導専門官、天野珠路氏が「改定保育所保育指

針の意義と性格について」と題し講演されました。

改定が求める3つの留意点

天野氏は新指針のなかで保育所に求められるボ

イントとして、
1. 社会性をもつ(法に基づく仕事である)

2. 保育のエビデンス・根拠をもつ(何となくではない専門性の上に成り立つ仕事である)

3. 専門性をもつ(保育上の「土」は専門職の意味)――の3つの留意点を指摘されました。

また、保育所の質の向上の観点から告示化され

たことで最低基準が明確になり、保育所ごとの創意工夫を促すために内容

並びに児童福祉を目的として事業を行う団体

現状報告が行われました。
(編集委員K・M)

天野氏はこの「第1章総則」が「子どもの発達」「保育の内容」などと統く第2章から第7章までの指針全体の骨子となっていましたと強調されました。

説明会ではこの後、府・児童家庭室から「保育の質の向上のためのアクションプログラム」のガイドラインの解説、認可外保育所に関する府下の動向

と大阪府の調査・指導の

結果報告が行われました。

(編集委員K・M)

員が家庭との緊密な連携の下に、発達過程を踏まえ、環境を通して養護と教育を一貫的に行うものである」とし、「保育の原理」では「子どもが現在を最もよく生き、望ましい未来をつくり出す力の基礎を培うために行われる」と意義づけています。

うなことをその子の母親が父親に言っているらしい。薄々は自覚していたが、久々に体重計に乗ると案の定「ボニヨ」は増殖していました。最近、メディアではさまざまにダイエット法が紹介され、見出しへはさまざまにダイエット法が紹介され、見出しへは「手軽」「短期間」という文字が躍っています。しかし、どれも一過性のブームで終わる傾向が強い。ダイエットは「継続」が一番大切、結局のところ本人の「やる気」の問題ではないかと思います。

私もその一人だが、ブームに食いついているよう

では痩せられない。痩せ

ようと思うなら、バランス

よい栄養の摂取、適切な食事量と運動量ではな

いかと考えています。

小学生でもわかる力口

リの足し算、引き算。

しかし、足し算ばかりで

引き算が苦手な私の「ボニヨ」ブームは終わる気配がありません。

(編集委員H・M)

公益信託一度童子奥田基金助成の「案内

○対象: 大阪府内の高齢者の「生きがい」についての研究、啓発及びボランティア活動を行う団体

○申請受付: 11月1日～30日

○問合せ:

○助成金額:

大坂府共同募金会
(06-6762-8717)
○ホームページ: http://www.akaihane-osaka.or.jp

保育分野は「子育て支援交付金」 (仮称)に

事業内容・用途は限定せず

(原案)を公表――

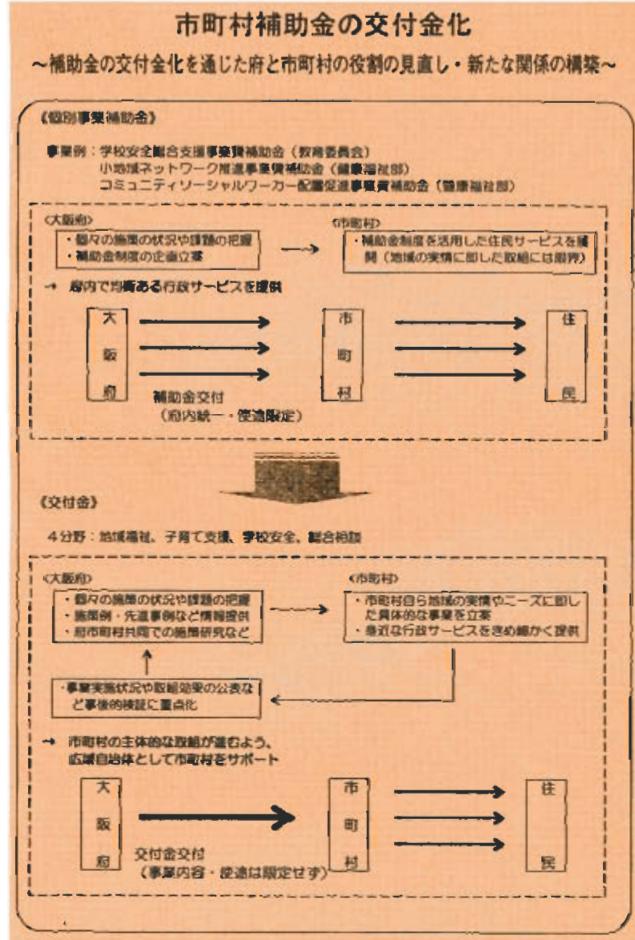
――府が補助金の交付金化――

◎少子化対策特別部会
(第12、13、14、15回)
「保育サービス提供の新しい仕組み」の検討を開始。その際、「現行制度の課題をクリアにしたうえで考えることも必要」「長時間利用、スポット利用を全部一緒にを行うことはコストの面でも大変」

契約制度は「財源確保が先決」 ――サービスの自由価格に不安の声も――

大阪府は9月22日、市町村向け府補助金の交付金化(原案)をとりまとめ、公表しました(図参照)。

この交付金制度は、市町村が地域の実情に沿った事業をよりきめ細かく展開できるよう、既存の補助事業や府事業の一部を廃止、再構築し、「交付金」として市町村に交付されるものです。今までの補助金では「府内統一・使途限定」であったが、「除外事業・経費を除き、事業内容・用途は限定せず」に変わり、交付金の使途は市町村の裁量に委ねられます。交付単位は市町村の財源としての自由度を高めつつ、施策間のばらつきを極力回避するため一定の分野ごとに交付されます。保育分野については



子育て支援全般を対象とする「子育て支援交付金（仮称）」が該当し、交付金の財源には府事業である「子育て支援保育士事業」が含まれています。

9月25日には「市町村企画・財政担当部長会議」が開催され、市町村補助金の交付金化についての報告及び説明が行われています。なお、11月の中

度の課題をクリアにしたうえで考えることも必要」「長時間利用、スポット利用を全部一緒にを行うことはコストの面でも大変」

金の交付金化についての報告及び説明が行われています。なあ、11月の中旬には交付金の基本的な考え方方が提示される予定です。

本紙5月号で応募を受け付けてまいりました「保育園における地域貢献事業」を推進する人材のネーミングは、和名「地域貢献支援員」、愛称「スマイルサポーター」に決定いたしました。

今年3月、2回にわたり実施した「地域貢献事業人材養成研修」の受講者からの応募となりました。いずれもこの事業の趣旨に賛同がありましたが、この事業の趣旨を考慮され大変ユニークなものばかりでした。

地域貢献事業推進委員会では応募作品をもとに議論を重ね、「地域貢献支援員」と決定、愛称「スマイルサポーター」を採用させていただきました。「地域の親しみやすさがポイントとなる」という意図や愛称としての親しみやすさが笑顔でいられるように「スマイルサポーター」を採用させていただきました。「地域の親しみやすさがポイントとなる」という意図や愛称としての親しみやすさが笑顔でいられるように「スマイルサポーター」を採用させていただきます。

厚生労働省の社会保障審議会・少子化対策特別部会と新たな制度体系の設計に関する保育事業者検討会（前号参照）が開催されました。概要及び主な意見は次の通り。

などの意見が出されました。契約制度については、「財源確保ができてはじめて議論が現実になる」

サービスの価格に対しでは「自由価格になつた場合、上昇傾向になるのでは」「低所得者層への配慮がなくなっていくの

第1回では保育二団体・企業2社からの意見表明が行われました。第2回では「直接契約・利用者の仕組みについては、子どもの育ちを保障する

なりかねない」との意見が出されました。※各会資料は厚生労働省のホームページ（<http://www.mhlw.go.jp/>）でご覧いただけます。

●地域貢献事業推進委員会●

愛称は「スマイルサポーター」 一中核となる人材「地域貢献支援員」に決定

皆様には様々なアイデアをご提案いただき誠にありがとうございました。

保育おさか



落ち葉拾いで自然とふれあう

**キリスト教の「愛の精神」を実践
縦割り保育や担当制で子どもとの
信頼築く**

聖ミカエル保育園は北大阪急行千里中央駅から西へ徒歩15分、自然の残された島熊山の小高い頂上に建っています。

東豊中聖ミカエル教会の1階が保育園になつてあります。1971年から30年間、簡易保育園「緑丘保育所」として豊中市より委託運営されていました。2001年に認可、定員は07年度から0歳児まで45名です。

キリスト教の「愛し合うこと、許しあうこと」を

友だちと一緒に楽しい」と感じてもらえる「家庭的で温かい園でありたい」というのがねらいだそうです。

自然環境に恵まれ、四季折々の自然とふれあう機会も多い。特に秋はどんぐり拾いや落ち葉拾い、またサツマイモを収穫します。

保育の特色は週1回から2回、年齢別保育を実

大切に」の精神のもと、保育理念としては—◎わたしたちは、神様を愛するように子どもたちを愛します。◎わたしたちは、神様に仕えるように子どもたちに仕えます。◎わたしらは、子どもの命と人権を大切にまもります。

◎わたしたちは、子どもたちの健康と福祉を守ります。◎わたしたちは、地域と協力して、子育てを支援いたします。

「お友だちが好き、お友だちと一緒に楽しい」と感じてもらえる「家庭的で温かい園でありたい」というのがねらいだそうです。

(編集委員
M・H)

**保育園を****たずねて**

368

**大東市 上三箇保育園**

**地域の人々との交流大切に
環境生かし新園舎へ建て替え**

と公立時代の方針を融合しながら、種々の環境へ対応しつつ目標達成に努力されています。

近隣は宅地化が進みましたが、周辺には深北緑地公園や野崎観音があり、田畠などもまだ残っています。

1・2歳児は担当制で保育をされています。子どもと保育士との信頼関係を築くことと、見通しを持つて生活の流れ、習慣を身につけるためだそうです。

2年前には園長・職員を交えて創意工夫を重ね、立地(奥行きのある長方形の敷地)を活かした新園舎への建て替えが行われました。少しずつ新たな園の独自性を築かれています。

(編集委員 J・H)

最初の公立民営化保育園で、大東市では設立は平成15年ですが、公立時代を含めると40年近い歴史をもつた保育園です。

定員は120名。

保育目標に

「健康で生き生きした子ども」「感性豊かな子ども」

「思いやりの心をもち、仲間を大切にす

る子ども」を掲げ、社会福

祉法人の理念



夏祭りの稽古中

を最大限に生かし、理想的とする姿に近づいておられるのではと思われます。目を引くのは、2階のベランダから園庭を眺めると生駒山系が一望でき、いきいきと遊ぶ園児たちの姿が見えます。

一人ひとりの園児が健 康で安全に、安定した気持で過ごせるよう環境を整え、友だちと遊びの当たりにできます。地域の人々ともいざつを交わすなど暖かな交流を大切にし、日々の保育に生かしています。

(編集委員 J・H)

立地(奥行きのある長方形の敷地)を活かした新園舎への建て替えが行われました。少しずつ新たな園の独自性を築かれています。

つあります。新園舎建設では近隣の宅地と近接していたため大変なご苦労があつたと聞きましたが、限られた敷地内で環境

堺市 上野芝陽だまり保育園

週1回の3歳児「たんぽぽ教室」開催
4つの保育所が合同し発足



園舎と園庭

上野芝陽だまり保育園は7年前、堺市の4つの共同保育所（津久野、あ（りんこ）、（もず）、（こうま）町）が集まり「上野芝（新金岡）」に「あおぞら（旭）」が開設されました。

上野芝陽だまり保育園は7年前、堺市の4つの共同保育所（津久野、あ（りんこ）、（もず）、（こうま）町）が集まり「上野芝（新金岡）」に「あおぞら（旭）」が開設されました。

20年以上の歴史がある共同保育所が1つになるため、各保育所から「以前はこうしていた」との前例は一切言わず、初心にかえってみんなで保育所づくりを進めることを確認し合い、話し合い、学習を重ねました。

20年以上の歴史がある共同保育所が1つになるため、各保育所から「以前はこうしていた」との前例は一切言わず、初心にかえってみんなで保育所づくりを進めることを確認し合い、話し合い、学習を重ねました。

20年以上の歴史がある共同保育所が1つになるため、各保育所から「以前はこうしていた」との前例は一切言わず、初心にかえってみんなで保育所づくりを進めることを確認し合い、話し合い、学習を重ねました。

20年以上の歴史がある共同保育所が1つになるため、各保育所から「以前はこうしていた」との前例は一切言わず、初心にかえってみんなで保育所づくりを進めることを確認し合い、話し合い、学習を重ねました。

20年以上の歴史がある共同保育所が1つになるため、各保育所から「以前はこうしていた」との前例は一切言わず、初心にかえってみんなで保育所づくりを進めることを確認し合い、話し合い、学習を重ねました。

初年度は0歳、1歳児の定員を24名としましたが、地域には該当年齢の待機児童が多く、定員一杯の状態でした。

半の時間帯。

6月頃から保護者の付き添いはなく、集団生活に慣れる取り組みです。

地域とともに、子どもたちとともに、そして子どものすこやかな育ちのために一を理念に実践されています。

その「東保育所」が貝塚市では初めて民営化されました。再び地域が中核となり新たに「社会福祉法人ときわ福祉会」を立ち上げ、園舎を新築移転して歴史ある保育所を引き継がれました。

新しいスタートをきった「ひがし保育園」は今年4月に生まれたばかりの保育園です。どうより新しく「生まれ変わった」といふべきでしょ

うか。定員は120名。

前身の「東保育所」の歴史は大正時代に始まります。

地域のボランティアによつて開設され、

地域活動では3歳児教

室「たんぽぽ教室」が開

かれています。2月頃に募

集し4月から週1回、

午前9時半から午後零時

の定員を24名としました

が、地域には該当年齢の

待機児童が多く、定員一

杯の状態でした。

住宅街にあるため、迷

惑をかけないよう近隣の

意見をうかがい、受け止

めながら保育に生かされ

ています。例えば、ブリ

ル遊びは夕方や土曜日に

も行われていましたが、

その後午前中のみ実施、

土曜日は止められるなど

日常の保育の見直しにも

つながりました。

園の保育の特長について、保護者や地域の方々

から「リズム」「歌」「散歩」「遠足」「劇あそび」

といった声があがつてい

ますが、特別な保育の実

践ではなく「あたりまえ

の保育」を心がけておら

れるようです。

地域活動では3歳児教

室「たんぽぽ教室」が開

かれています。2月頃に募

集し4月から週1回、

午前9時半から午後零時

の定員を24名としました

が、地域には該当年齢の

待機児童が多く、定員一

杯の状態でした。

住宅街にあるため、迷

惑をかけないよう近隣の

意見をうかがい、受け止

めながら保育に生かされ

ています。例えば、ブリ

ル遊びは夕方や土曜日に

も行われていましたが、

その後午前中のみ実施、

土曜日は止められるなど

日常の保育の見直しにも

つながりました。

園の保育の特長について、保護者や地域の方々

から「リズム」「歌」「散歩」「遠足」「劇あそび」

といった声があがつてい

ますが、特別な保育の実

践ではなく「あたりまえ

の保育」を心がけておら

れるようです。

地域活動では3歳児教

室「たんぽぽ教室」が開

かれています。2月頃に募

集し4月から週1回、

午前9時半から午後零時

の定員を24名としました

が、地域には該当年齢の

待機児童が多く、定員一

杯の状態でした。

住宅街にあるため、迷

惑をかけないよう近隣の

意見をうかがい、受け止

めながら保育に生かされ

ています。例えば、ブリ

ル遊びは夕方や土曜日に

も行われていましたが、

その後午前中のみ実施、

土曜日は止められるなど

日常の保育の見直しにも

つながりました。

園の保育の特長について、保護者や地域の方々

から「リズム」「歌」「散歩」「遠足」「劇あそび」

といった声があがつてい

ますが、特別な保育の実

践ではなく「あたりまえ

の保育」を心がけておら

れるようです。

地域活動では3歳児教

室「たんぽぽ教室」が開

かれています。2月頃に募

集し4月から週1回、

午前9時半から午後零時

の定員を24名としました

が、地域には該当年齢の

待機児童が多く、定員一

杯の状態でした。

住宅街にあるため、迷

惑をかけないよう近隣の

意見をうかがい、受け止

めながら保育に生かされ

ています。例えば、ブリ

ル遊びは夕方や土曜日に

も行われていましたが、

その後午前中のみ実施、

土曜日は止められるなど

日常の保育の見直しにも

つながりました。

園の保育の特長について、保護者や地域の方々

から「リズム」「歌」「散歩」「遠足」「劇あそび」

といった声があがつてい

ますが、特別な保育の実

践ではなく「あたりまえ

の保育」を心がけておら

れるようです。

地域活動では3歳児教

室「たんぽぽ教室」が開

かれています。2月頃に募

集し4月から週1回、

午前9時半から午後零時

の定員を24名としました

が、地域には該当年齢の

待機児童が多く、定員一

杯の状態でした。

住宅街にあるため、迷

惑をかけないよう近隣の

意見をうかがい、受け止

めながら保育に生かされ

ています。例えば、ブリ

ル遊びは夕方や土曜日に

も行われていましたが、

その後午前中のみ実施、

土曜日は止められるなど

日常の保育の見直しにも

つながりました。

園の保育の特長について、保護者や地域の方々

から「リズム」「歌」「散歩」「遠足」「劇あそび」

といった声があがつてい

ますが、特別な保育の実

践ではなく「あたりまえ

の保育」を心がけておら

れるようです。

地域活動では3歳児教

室「たんぽぽ教室」が開

かれています。2月頃に募

集し4月から週1回、

午前9時半から午後零時

の定員を24名としました

が、地域には該当年齢の

待機児童が多く、定員一

杯の状態でした。

住宅街にあるため、迷

惑をかけないよう近隣の

意見をうかがい、受け止

めながら保育に生かされ

ています。例えば、ブリ

ル遊びは夕方や土曜日に

も行われていましたが、

その後午前中のみ実施、

土曜日は止められるなど

日常の保育の見直しにも

つながりました。

園の保育の特長について、保護者や地域の方々

から「リズム」「歌」「散歩」「遠足」「劇あそび」

といった声があがつてい

ますが、特別な保育の実

践ではなく「あたりまえ

の保育」を心がけておら

れるようです。

地域活動では3歳児教

室「たんぽぽ教室」が開

かれています。2月頃に募

集し4月から週1回、

午前9時半から午後零時

の定員を24名としました

が、地域には該当年齢の

待機児童が多く、定員一

杯の状態でした。

住宅街にあるため、迷

惑をかけないよう近隣の

意見をうかがい、受け止

めながら保育に生かされ

ています。例えば、ブリ

ル遊びは夕方や土曜日に

も行われていましたが、

その後午前中のみ実施、

土曜日は止められるなど

日常の保育の見直しにも

つながりました。

園の保育の特長について、保護者や地域の方々

から「リズム」「歌」「散歩」「遠足」「劇あそび」

といった声があがつてい

ますが、特別な保育の実

践ではなく「あたりまえ

の保育」を心がけておら

れるようです。

地域活動では3歳児教

室「たんぽぽ教室」が開

かれています。2月頃に募

集し4月から週1回、

午前9時半から午後零時

の定員を24名としました

が、地域には該当年齢の

待機児童が多く、定員一

杯の状態でした。

住宅街にあるため、迷

惑をかけないよう近隣の

意見をうかがい、受け止

めながら保育に生かされ

ています。例えば、ブリ

ル遊びは夕方や土曜日に

も行われていましたが、

その後午前中のみ実施、

土曜日は止められるなど

日常の保育の見直しにも

つながりました。

園の保育の特長について、保護者や地域の方々

から「リズム」「歌」「散歩」「遠足」「劇あそび」

といった声があがつてい

ますが、特別な保育の実

践ではなく「あたりまえ

の保育」を心がけておら

れるようです。

地域活動では3歳児教

保育おさか



宮武勲編集委員長

「保育のまど」は今年

5月号から10月号まで
「食育」をテーマに連載

しましたが、今回は総括編として本紙編集委員による座談会を開催。食育

に取り組むうえで特に家

庭との連携の重要性が指

摘されました。以下はそ

の内容の概要です。

(司会・宮武勲編集委員長)

「食育」に取り組む

必要性

司会 食事の基本指導から食の体験、環境教育まで6回にわたり各保育園の多彩な取り組みをご紹介しました。その事例を踏まえ「食育」についてのご意見を自由にどうぞ。

A 食べ物のありがたさを知ることも「食育」の

B 手づくりおやつを園児に提供していますが、

C 「日本の残飯量で世界の飢餓が救える」と聞

D そういう意味でも保育園が食育に取り組む必

E 「食育」を考えるには保育園が一生懸命取り組むだけでなく、家庭で

F そういう風潮になってきたこともあって、これではいかんと「食育」の考え方が出てきたので

G 現在は日本食以外に

ます。
児に提供していますが、

口に合わないのか残してしまった園児もいる。確かに食べ物がなかつた時代

からみると豊饒になつて

いるかもしれません。

C 「日本の残飯量で世

界の飢餓が救える」と聞

D そういう意味でも保

E 「食育」を考

F かりの冷凍食品であつた

G 「食育」については

多様な料理に
食べ方も変化?

もさまざまなお料理が食べられている。食べ方の問題一つとっても日本の食文化が変化してきたといふことでしょうか。

司会 「食育」を進めていくためには、家庭との連携が不可欠だと思いま

すが、各園での連携事例

G 「食育」については

栄養価や食に対する考え方もありますが、食べ方

の問題もあると思います。

副食を先に全部食べてしまつて、その後にご飯を

食べるという園児がいました。保護者にそのこと

も「食育意識」をもつてお弁当の中身が添加物ばかりの冷凍食品であった

E 「食育」を考えるには

も「食育意識」をもつてお弁当の中身が添加物ばかりの冷凍食品であつた

F かりの冷凍食品であつた

G 「食育」については



まど (29)

家庭との連携で
「食育意識」を高めよう
各保育園の多彩な
取り組み進む
「食育」を考える—
編集委員座談会



編集委員9名による座談会



編集委員9名による座談会



編集委員9名による座談会

て会話するきっかけづくりになればと。

B ある園児の家庭の話ですが、自分の子どもも魚嫌いと思い込んでおられたらしい。その園児が保育園で出された魚を食べることを知り、「う

ちの子、魚たべているのですか?」とびっくりする保護者もおられた。もともと自宅ではあまり魚を調理されていないようで魚料理が少なかつたんですね。

司会 「食育」を進めていくためには、家庭との連携が不可欠だと思いま

すが、各園での連携事例

G 「食育」については

栄養価や食に対する考え方もありますが、食べ方

の問題もあると思います。

副食を先に全部食べてしまつて、その後にご飯を

食べるという園児がいました。保護者にそのこと

も「食育意識」をもつてお弁当の中身が添加物ばかりの冷凍食品であつた

E 「食育」を考えるには

も「食育意識」をもつてお弁当の中身が添加物ばかりの冷凍食品であつた

G 「食育」については

も「食育意識」をもつてお弁当の中身が添加物ばかりの冷凍食品であつた

E 「食育」を考えるには

も「食育意識」をもつてお弁当の中身が添加物ばかりの冷凍食品であつた

G 「食育」については

も「食育意識」をもつてお弁当の中身が添加物ばかりの冷凍食品であつた

G 「食育」については



「食育」について活発な意見が出されました

影響を受けているのか、朝食を摂らない園児もあります。1日のエネルギーを蓄える意味でも朝食は大切です。そういう部分でも「食育」が大事になりますね。

H 日本食は「口中調味」という食べ方をする特徴があります。口の中で食べ物をミックスして食べます。この展示作戦

I その日の給食のサンプルを保護者の目のつく場所に展示しています。バランスの良い食事の提供をアピールすることと、家庭でも食事について考えていただきたいというメッセージを込めて行っています。この展示作戦

J 「食育」はこれからも多くの園で取り組まれています。経験や工夫を積み重ねながら、今後もその時代や家庭状況に合った「食育」やその取り組みを進めいかなければならぬないと考えます。本日は貴重なご意見ありがとうございました。

